

国体選手選考方法について

3年後、平成26年度長崎国体上位入賞を果たすためには、現状の課題は以下の通り。

- 1 強化システムの構築
- 2 県外ふるさと登録選手（特に大学生）の選手確保
- 3 最強チームを編成するための選手選考方法のあり方
- 4 何としても得点を獲得（本国体5位以上）するための強化策

このことを考慮し、今年度より以下の選考方法を実施したい。

予選会の実施方法

成年男子について

従来通りの県内選考会（7月開催）、及び県柔道協会が指定する練習会・合宿の結果を総合的に判断し県柔道協会選考会議で決定する。但し、県外在住の有望選手（ふるさと登録選手）が日程の都合で県内選考会に参加出来ない場合は、主要大会の実績等を考慮し選考対象とする。

成年女子について

成年男子と同じ方法を基本とするが、参加者が少ない場合は県柔道協会が指定する練習会・合宿を選考会として位置づけ、県柔道協会選考会議で決定する。

少年男女

県内主要大会及び九州大会、全国大会の実績、候補者が複数いる場合は選考練習会・合宿を実施しその結果を総合的に判断し高体連柔道専門部、県柔道協会が選考会議で決定する。